

令和4年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	「地域で取り組む」御嶽山の火山防災力向上事業
事業主体 (連絡先)	木曾町 長野県木曾郡木曾町三岳 6311 番地
事業区分	(4)安心・安全な地域づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	381,625 円 (うち支援金 : 305,000 円)

事業内容

御嶽山における火山防災を地域で進めるため、火山体験学習を含めた安全登山啓発活動、地元小学生の火山防災学習、登山者参加型避難訓練を実施した。

- 火山体験学習 3回開催 (67名参加)
- 安全登山啓発活動 4回実施 (1,400名に啓発指導)
- 火山防災学習 (木曾町三岳小学校 5・6年生 14名)
 - ①学ぶ (火山体験学習) 9月12日
 - ②考える (火山防災タイムライン) 10月6日
 - ③伝える (学習まとめ) 11月24日
- 登山者参加型避難訓練 9月17日
(登山者600名、山頂域30名が参加)



【登山者参加型避難訓練】

事業効果

- ① 親子や子どもたちを対象とした火山体験学習は好評で、火山を含めた自然現象への興味を引き出し、それがもたらす恩恵や被害を冷静に考察する視点となった。御嶽山ビジターセンターのオープンにより、常設的に開催が可能な施設を活用する機会にもなった。
- ② 全国的にも珍しい火山防災を体系的に学ぶ授業構成を作ることができた。火山を学び、噴火災害について知ること、自分たちが何をできるのか考え、火山のある古郷で生きる意味を子どもたちそれぞれの感性で考えた。また、2014年の噴火災害を経験した関係者にご協力いただき、災害の伝承にも取り組んだ。
- ③ 全国初となる登山者参加型避難訓練であったため、マスコミにも大きく取り上げられ、火山防災のソフト対策として重要な一歩となった。名古屋大御嶽山火山研究施設や防災科学研究所と連携した取組にすることで、訓練効果や課題の検証にも活かすことができた。
- ④ 御嶽山火山マイスターや長野県、警察署など関係機関と連携し、継続した啓発活動に取り組めた。

【目標・ねらい】

- ① 子どもを含めた地域住民の火山防災意識の向上
- ② 地元小学生への火山防災学習のカリキュラム作成
- ③ 登山者も参加した現地避難訓練の実施と検証
- ④ 地域で協力した安全登山啓発活動

※自己評価【C】

【理由】登山者参加型避難訓練や地元小学生への火山防災学習は、御嶽山火山防災におけるソフト対策の新たな取り組みとなった。一方で、大学や研究機関等、関係者が想定よりも多くなり、その調整が課題となった。今後、実施主体や方法について整理し、安定して事業を継続できるモデル作りが必要である。

今後の取り組み

(火山体験学習) ビジターセンターを拠点として、火山マイスターが講師の中心となって進めていく。また VC 指定管理者である木曾おんたけ観光局は学習旅行誘致も計画しており、連携した取組が期待できる。

(火山防災学習) 三岳小学校より令和5年度への取り組みも依頼されており実施予定である。また、火山マイスターとも連携して、木曾町・郡内の学校にも実施を呼びかけていく予定である。

(登山者参加型避難訓練) 令和5年度も関係機関と連携して実施する予定である。より効果があり、検証可能な訓練とするため、実施体制について協議・調整し、現地訓練に加えて机上訓練(情報処理訓練)も計画していく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある